

類い稀な才能、巨匠たちをも唸らせるその音楽性

アレクサンドラ・ドヴガン ピアノ・リサイタル

ALEXANDRA DOVGAN PIANO RECITAL

Program

ベートーヴェン:

ピアノ・ソナタ第31番 変イ長調 作品110

L. v. Beethoven: Piano Sonata No. 31 in A-flat major, op. 110

シューマン:

ピアノ・ソナタ第2番 ト短調 作品22

R. Schumann: Piano Sonata No. 2 in G minor, op. 22

ラフマニノフ:

コレルリの主題による変奏曲 ニ短調

作品42

S. Rachmaninov: Variations on a theme by Corelli in D minor, op. 42

プロコフィエフ:

ピアノ・ソナタ第2番 ニ短調 作品14

S. Prokofiev: Piano Sonata No. 2 in D minor, op. 14

2025 **2.12** (水) 19:00 開演
(18:30 開場)

紀尾井ホール

Wednesday 12, February 2025 at 7p.m. at Kioi Hall, Tokyo

主催・お問合せ: AMATI Tel.03-3560-3010

〒107-0052 東京都港区赤坂1-14-5-S103

<https://www.amati-tokyo.com>

助成: 文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業

入場料(税込): 全指定席 ¥5,000

チケットお申込み:

イープラス <https://eplus.jp> (PC&携帯)

チケットぴあ <https://t.pia.jp>
(Pコード:284-620) (PC&携帯)

ローソンチケット <https://l-tike.com/>
(Lコード:33769) (PC&携帯)

※未就学児童の入場はご遠慮ください。
※やむをえない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。



17歳の肖像、アレクサンドラ・ドヴガンの今を聴く

当時11歳のアレクサンドラ・ドヴガンを巨匠グリゴリー・ソコロフは、こう賞賛しました。「彼女のことをただの驚異的な少女と言ってはいけない。その演奏は決して神童のものではない。聴こえてくるのは、成熟したピアニストの演奏である」。その言葉を裏付けるように、ドヴガンは欧米各国の名門オーケストラや名だたる音楽祭、コンサートホールから招かれています。2023年の日本デビュー・リサイタルも絶賛を博し、今や次代を担うピアニストに彼女の名前を挙げない人はいません。

未来の巨匠ドヴガン、17歳の今をぜひお聴き逃しなく。

ALEXANDRA DOVGAN

アレクサンドラ・ドヴガン(ピアノ) *Alexandra Dovgan, piano*

アレクサンドラのピアニズムの特徴は、驚くべき美しさと正確さを備えた音であり、技術的デモンストレーションの要素はなく、純粋な表現力と創造的な想像力と結びついたものである。また彼女自身カリスマ的な存在であり、独特の個性を持っている。

2007年音楽家の家庭に生まれ、4歳半からピアノを学び始める。難関で知られるモスクワ音楽院附属の中央音楽学校に5歳で入学、著名な教師であるミラ・マルチェンコに師事。2015年のメキシコのピヤエルモサ・コンクールをはじめ、2015年ウラル・プロコフィエフ国際コンクール、サフォノフ・ヤングピアニスト国際コンクール、全ロシア音楽タレントインターネット・コンクール、さらに2017年にはクライネフ国際ピアノコンクール、「アスタナ・ピアノ・パッション」国際ヤングピアニスト・コンクール、若い音楽家のための国際テレビコンクール「くるみ割り人形」などで入賞。2018年にはまだ10歳で第2回若いピアニストのための「グランド・ピアノ国際コンクール」でグランプリを獲得。

2019年には12歳でベルリンのフィルハーモニーとアムステルダムのコンセルトヘボウにリサイタル・デビュー。その後もウィーンのコツェルトハウス、ベルリンのブルーゼ・ザール、パリのシャンゼリゼ劇場、リスボンのグルベンキアン、ハンブルクのリーダー・ハレ、ブエノスアイレスのコロン劇場、東京の紀尾井ホール等、世界中の名だたるコンサートホールの舞台に立っている。また、オーケストラとの共演も多く、グスターボ・ドゥダメル、パーヴォ・ヤルヴィ、トレヴァー・ピノック、トン・コープマン等のマエストロの指揮のもと、ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団、チューリヒ・トーンハレ管弦楽団、バルセロナ交響楽団、ロイヤル・ストックホルム・フィルハーモニー管弦楽団、マーラー室内管弦楽団等のオーケストラと共演を重ねている。今シーズンはワシントン・ナショナル交響楽団、デトロイト交響楽団等にもデビュー。さらにザルツブルク、ルール、ソルスベルク、ラインガウ、ラ・ロック・ダンテロン、ラインガウ、グシュタード、ヴェルビエなどの音楽祭にも継続的に招かれている。

2023年に初来日、紀尾井ホールでのデビューリサイタル、トレヴァー・ピノック指揮紀尾井ホール室内管弦楽団、広上淳一指揮京都市交響楽団、鈴木優人指揮読売日本交響楽団と共演した。

Chopin

Urtext

Klavierkonzert Nr. 2
f-moll Opus 21
Klavierauszug

Piano Concerto no. 2 in f minor
op. 21 - Piano Reduction

次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお買い求め下さい。

①やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。②いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。③演奏中は入場できません。④未就学児の同伴はご遠慮下さい。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚のチケットが必要です。⑤全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。⑥場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。⑦ネットオークション等によるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑧他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。